

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
2-⑧	災害に強いまちづくりを推進する	まちづくり政策部、土木部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	実績値				5年度 目標値	推計値に よる評価
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度		
緊急輸送路等にかかる橋りょうの耐震化進捗率	%	73	77	77	77	93	未達成
国道1号に埋設されている公共下水道施設の耐震化進捗率	%	73	86	86	94	100	未達成
建物の耐震化に関する補助制度周知数（年間）	回	18	17	18	19	20	未達成
土のうステーションの設置数	箇所	12	16	16	19	15	達成

関連事業				
○建物の耐震性向上促進事業○橋りょう震災対策事業○公共下水道整備事業○公共下水道管路地震対策事業				
決算額				
	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	1,035,349	1,347,658	488,656	
執行率（%）	76.50	89.72	78.59	

施策の推進に向けた主な取組の「成果」
<ul style="list-style-type: none"> ・落橋防止装置の設置及び耐震補強の設計や工事を行い、橋りょうの耐震化を推進しました。また、緊急輸送道路に指定されている国道1号に埋設してある公共下水道施設の耐震化を推進しました。 ・住宅耐震相談会の開催や耐震化実施の働きかけなどの啓発活動により、助成制度を利用した建物の耐震化を推進しました。 ・雨水管渠や排水ゲートなどの整備を行い浸水被害の軽減を図るとともに、大雨時の備えとして活用する内水ハザードマップを改訂しました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

・市民生活の安全確保のため、橋りょうや公共下水道施設の耐震化を計画的に推進する必要があります。

⇒平塚市橋りょう耐震化計画に基づき、必要性や緊急性を勘案した上で、河川管理者等の関係機関と調整し、橋りょうの耐震化の設計や工事を推進することで、地震による落橋などを防止します。また、公共下水道施設の耐震化は、道路管理者や交通管理者などの関係機関と調整し、設計や工事を推進します。

・耐震性の高い災害に強い建物を促進する必要があります。

⇒建物の耐震化の必要性や耐震化に対する補助制度について、市民の理解を高めるため、平塚市耐震改修促進計画に基づき、住宅耐震相談会や所有者への文書送付等の働きかけなどによる普及啓発や耐震化を促進します。

・近年頻発する局所的な集中豪雨や台風などによる浸水被害の軽減を図るため、被害状況や地域特性に対応した効果的な浸水対策を実施する必要があります。

⇒平塚市総合浸水対策実施計画に基づき、雨水管渠などの設計や工事を行い浸水被害の軽減を進めるとともに、自助・公助を組み合わせた総合的な浸水対策を継続的に推進するほか、河川管理者などと連携して流域治水に取り組みます。